

鶴川図書館大好き!の会と中央図書館の話し合いの簡易記録

- 日時 2020.11.13 15:30～16:45
- 場所 鶴川5丁目集会所 ふれあいルーム
- 出席者 鶴川図書館大好き!の会：4名【鈴】、【守】、【桜】、【梅】
- 利用者：1名【利】
図書館：企画・地域支援係長【図】、書記係1名

【鈴】企画・地域支援係は色々な方と話し合いをしていると思うのですが、今後図書館として懇談会を開催する予定なのですか。

【図】前に少しお話ししましたが、今は民協や青少協、それからいくつか学校にも行きました。来週の月曜には小野路宿里山交流館にも行きます。そこは市民が立ち上げた団体が市から指定管理者として委託を受けているので、そのあたりの経過や苦勞話を聞いてきます。現在、町田市としては、コロナに対する配慮から町内会へ回覧をしないことになっているので、地域の方に鶴川図書館のことをお知らせする方法がなかなか無く、次は町内会長の方々に個別に連絡しようか検討しています。

コロナの状況次第ではありますが、順調に行けば、懇談会のお知らせを12月から来年の1月にお伝えしたいと思っています。その後2,3月にワークショップをして、その間に懇談会参加者の有志で他自治体の視察をしようかと考えています。また図書館内部でもベテランの司書を含めた検討を始めようとしていまして、利用者向けのアンケートも検討しています。

【守】それはどのようなアンケートですか。

【図】図書館全体を対象にした利用者アンケートを10月に行ったのですが、そのときに鶴川図書館で答えていただいた200人のうち20人位の方から「鶴川図書館は無くなってしまおうのでしょうか。」や「残して欲しい」という意見がありました。図書館のアクションプランや図書館機能を残すことについて、まだまだ周知が十分ではなく、利用者の不安感を解消できていないので、アンケートをやるのであれば鶴川団地に図書館機能は残ります、とお伝えできるものにしようかと考えています。

【守】前にそちらで行った鶴川駅前図書館アンケートが恣意的で誘導的な内容だったと議会で戸塚議員が言っていましたよね。今までと同じようなアンケートならば市民の声をフェアな立場で聞いてくれない気がするので、やらない方がいいと思います。フェアに聞かなければひやっただ方がいいと思います。

【鈴】鶴川駅前図書館のアンケートは指定管理導入についての選択肢の初めに「特問題ありません」と書いてあるのが通常のアンケートではあり得なくて、きわめて恣意的でした。

【守】議会で館長も副館長もそれは認めていましたよね。図書館のことをお知らせするため

のアンケートと言っていました。それはアンケートとは言いません。不信感を抱いてしまいます。本当の財政の状況を伝えて、どうしたらいいかというのを真摯に伝えた方がいい。例えばまちライブラリーが南町田にできたときに市がお膳立てをしたようですが開館後は民間に任せている、鶴川図書館の場合は、再編後、図書館がそこから手を引くわけではない、というのを示すのが重要なポイントだと思います。

私たちは鶴川図書館を図書館法上の図書館のままとし、他の図書館から本を取り寄せる機能を絶対残して欲しいと考えています。職員さんの立場は分かっていますが、感覚的に図書館の管理職や町田市は我々の希望を受け入れることができそうだと思いますか。

【図】なかなか表現の仕方が難しいのですが、当初の我々のスタンスが図書館法上の図書館から外し、機能も予約受け取りなど最小限にとどめるといったものだったとすれば、今の段階では文教社会常任委員会での議論等も踏まえまして、地域の皆さんとの話し合い次第で残していく図書館機能の範囲を広げていく余地はあるのかな、と思います。

ただ、鶴川図書館の利用者が減っているのは事実ですし、鶴駅が出来た直後は勿論、2016年度から2019年度までの4年間で見ても、残念ながら鶴川図書館の利用者数、貸出冊数の減少率が一番大きくなっています。このような状況の中で今のままではまずいな、とは思いますが。皆さんの活動も鶴川図書館の活性化策の一つだとは思いますが、鶴川駅前図書館と同じようなことをしているとやはり見劣りしてしまいます。鶴川図書館にしかない特色、新しい色を出していくことが必要なのではないでしょうか。

具体的にどこまでのサービスを残すのかはこれから話し合いの中で決めていきたいと思っています。ただし、懇談会を開催し、そこで皆さんが同意した意見が出たとしてもそれが100%できるとは保証できません。方向性として市長まで同意を得ていたとしても、その時の財政状況もありますし、ご存知のとおり最終的には議会の議決が必要です。

そうしますと、懇談会では残すべき機能やその優先順位、新たな取組としてやってみたいこと、役割分担などについて、提言として意見を出していただくことになると思います。

【守】アクションプランの方向性として、鶴川駅前図書館は指定管理で、鶴川図書館は市民協働でやっていくというのを市長は認識しているのですか。

【図】していると思います。私は直接話していませんが、アクションプランを策定する際に、市長にも事前に説明し、方向性について同意を得ています。

【守】市民協働はトレンドであるので、1か所でそうなると他の図書館もそうしろとなりかねませんか。

【図】鶴川図書館の再編は2022年度までとなっていますが、これは地域の方との話し合いを進めていくことなので機械的には進められません。それに対して鶴川駅前図書館の指定管理については、導入後効果を検証するとはしていますが、逆にいくと導入は決定した事項であり、2022年度の導入に向けて進めていきます。

【守】鶴川駅前図書館の指定管理者が鶴川図書館の運営も行う可能性はあるのか。

- 【図】コストや事務の効率性からすれば可能性はあります。
- 【鈴】鶴川図書館の再編は、地域の市民が粘り強く強く言っているから、図書館をなくすのではなく市民協働と言っているのでしょう。
- 【図】元々在ったものを無くすのは当然困難です。再編のパターンとして、大和市のシリウスのように、点在していた施設を集約して大きくて綺麗で立派な複合施設にするというものがあります。
- 【守】私は図書館に長く勤めてきましたが、図書館を単に市の出先機関だとは思っていません。図書館は市民がそこから知識や情報を得て、社会や行政のあり方を自ら考えて、行政に協力したり意見を言ったり、地方自治を支える主体的な市民となるための社会装置です。行政的にも社会にとってもかけがえのない場所ですが、議員も市長も図書館をあまり使っていません。価値観が違うのです。現場で地域の人のお話を聞くと、図書館がなくなると困る人は多いです。図書館が近くにあれば、多くの市民は利用するのです。私たちは今後も色々な運動をします。
- 【鈴】他の人にも話してもらいましょう。
- 【梅】私は鶴川図書館の存続の書類に署名したから、鶴川図書館はなくなるのだからと思っていました。鶴川図書館は日常に溶け込んでいますが、ポプリの図書館は溶け込んでいません。鶴川図書館ほど日常に溶け込んでいる図書館は、他にはないのではないのでしょうか。
- あと、図書館のコストは人件費がほとんどなのですね。図書館にかかるのは冷暖房費ぐらいかと思っていました。
- 【守】図書館は人的サービスがあるから、人件費かかるのは仕方ありません。今の公務員はお金が高いです。
- 【梅】鶴川図書館は他の店舗と同じように家賃もかかっていますよね。図書館にかかるのが冷暖房費と家賃だとしたら、そのまま残してもいいのではないのでしょうか。
- 【守】新型コロナ対策で、自治体の財政は今後さらに厳しくなっていくでしょう。今まで行政は新型コロナのようなことは想定せずに、「集客」を当て込んだ政策を推し進めてきたので、今後はもっと市民の日常を重視する政策に見直さないといけないです。
- 【梅】鶴川図書館は子供の目線に本があって、本に親しみやすいです。団地には広場もあり、子どもが自然と本と触れ合えるまれなケースだと思います。同じような施設をもっと作るべきだと思います。
- 【鈴】八王子は分館、市民センター図書館とか小さな図書館があります。家から少し行けば図書館があります。町田市は図書館をなくすといいますが、家の近くにある事が大事です。新型コロナウィルスのあることあるので、より図書館は必要になると思います。
- 【図】鶴川図書館の利用が急速に減っている話をしましたが、その一方で、一日約 500 人の方が来館されており、有り難いことですが、地域に溶け込み受け入れられていると考えています。商店会の人とも話しましたが、集客装置として図書館は必要だと言っていました。そこは重く受け止めています。
- 【櫻】八王子では一般市民を募集して、15 人から 5 人くらい選んでいます。分館を作る前

に市民センターの地区図書室としての下地があり、うまくいっています。都合のいいときだけ市民を入れると良くないと思います。八王子では市民の意見を聞いてうまくやってきたと思います。

【図】今年度の2回のワークショップだけで今後の方向性が全て決まることはありません。今後も皆さんとの意見交換を続けていきます。鶴川図書館に関して運営など全部自分たちに任されてしまうと難しいけれど、少し手伝うのだったらいいよ、と言う人がいたら一緒にやっていきたいです。団体立ち上げも難しいですが、それは町田市地域活動サポートオフィスという機関がありますので、そこが団体立ち上げなどの伴走支援をしていくことも可能です。委託に切り替わるときに、相模大野のライブライブのように元々そこで働いた方たちに団体を組んでもらうという手段もあります。あとは守谷さん、手嶋さんのレファレンス力をそこで新しい方たちに伝えていただくのはどうでしょうか。

【守】以前そうでしたが、図書館で臨時職員を公募するとかなりの人が集まります。応募してきた人は皆家の近くで働きたがりますが、あえて遠くの館に配属をしました。それは本を借りるときに地域の身近な人たちがカウンターにいと、借りる人のプライバシーに関わるからです。八王子にその件に関して聞きましたが、市民からのクレームや問題は何回聞いてもないとっていました。ただ、そのようなセンシティブな問題は、意識していなければ顕在化しないものです。

【鈴】本当に気にする人は遠い館に行くのでしょうか。

【図】八王子の貸し出しはセルフで行うのですか。

【鈴】検索は機械で、貸し出しは人です。返却は郵便局でできるのがいいです。八王子は少しずつ充実していますが、町田市は少しずつ不便になっています。

あと庄司さんからメールが来ているのでお伝えします。「鶴川図書館は本が古く、スペースもないですが、もっと新しい本が入ればアクセスもいいので人が集まると思います。」とのことです。今は団地に新しく人を入居させていないから利用者が減っていると思います。あとは図書資料費が低いのは本当によくありません。特に小さい図書館だとつらいです。

【図】図書館としても資料費を増やせるよう毎年要求はしていますが、図書資料費は確かに低いですね。

【櫻】八王子では2010年に一度財政を減らそうとしていましたが、その後「本のまち八王子」として充実させるようにしました。

【鈴】その変化のタイミングで健全財政になったようです。

【櫻】町田市はお金がもうかるものばかりにかけているのはなぜなのでしょう。

【守】それは市長の政策の問題だから、職員に言っても仕方ないことかもしれませんけどね。

【利】私は鶴川在住なので今日来ました。市長は図書館を市民協働にするか、完全民営化するかのどちらかにしているのでしょうか。

【鈴】主導は市長ではないでしょう。

【利】私は水道局で長く働いていましたが、フランスではいったん水道は民営化して、その

後値上がりしてしまい、公営化しました。そういうところは国民の話を聞かないと思います。そのあたりはどうですか。

【図】図書館は民営化することは無いと思います。図書館の無料原則がありますから、民営化は難しいと思います。

【鈴】図書館サービスは良くなって、でもコストは下がるようない話はありません。

【守】国の方針が変わらないから自治体も変わらないのです。町田市は図書館資料費は26市の中で最下位なのに、それをもっと減らそうとするなんて、もう市長に代わってもらえないです。そもそも、市長が用事で図書館や文学館などに来て、事務室に顔を出すことなんかまずなかった。出先の若い職員や非常勤職員は、市長がちょっと顔を出して、ひと言声を掛けるだけで、モチベーションが上がるものです。そういうことは全くしない市長です。その点、前の市長の寺田さんは、良く出先に顔を出していました。

【鈴】生涯学習部長も何十年も図書館に来ていないと言っていました。

【利】大下さんもそうだった。福祉に力を入れていました。

【守】大下さんが福祉に力を入れていたのは賛否両論ありますが、それはそれでいいと思います。寺田さんは文化に力を入れていました。今の市長は何がしたいのか分かりません。

【鈴】八王子の由井中央市民センター図書館は費用が2000万円ですんでいますが、鶴川図書館より狭く、閉架書庫もないようです。新聞もありません。鶴川図書館と全く同じではないですが、正規職員がいなくて会計年度任用職員がいます。業務員は前から働いていた人もいて、なおかつ追加で数人入って、その方たちでおはなし会もしているようです。また、市民センター図書館にすると本館で研修したようです。

【図】みなみ野は図書館システムと繋がっているのですか。

【守】つながっていて、検索や予約もできます。

【図】みなみ野の図書館システムは地域で採用された人も見ているのでしょうか。

【守】見えています。

【図】図書館内で出た話なのですが、システムが残っていると個人情報的にどうなのでしょう。

【守】本当は良くないと思いますが、八王子はそのようにしています。指定管理であればそのあたりの問題はクリアできるのだらうと思います。

【図】契約書は交わすと思いますが、心配ですよね。

【守】実際に指定管理で不祥事があったこともありますよね。

【図】ただ指定管理でなく、職員だとしても倫理観やプロ意識の問題ですので、100%安心なわけではないですよね。

【守】そうですね。

そろそろ終わりの時間なのでここまでにします。今日は藺田さんが来れなかったので、また今後も話し合いをお願いします。